

平成 26 年度

運営に関する計画

自己評価

大阪市立横堤中学校

平成 26 年 4 月 25 日

## 目 次

1	学校教育目標	· · · · ·	P.	1
2	総括シート			
	学校運営の中期目標	· · · · ·	P.	2
	中期目標の達成に向けた年度目標	· · · · ·	P.	3
3	目標別シート			
	視点・学力の向上			
	教務部	· · · · ·	P.	4
	国語科	· · · · ·	P.	5
	社会科	· · · · ·	P.	6
	数学科	· · · · ·	P.	7
	理科	· · · · ·	P.	8
	英語科	· · · · ·	P.	9
	音楽科	· · · · ·	P.	10
	美術科	· · · · ·	P.	11
	保健体育科	· · · · ·	P.	12
	技術家庭科	· · · · ·	P.	13
	道徳心・社会性の向上			
	人権・特別支援教育委員会	· · · · ·	P.	14
	生活指導部	· · · · ·	P.	15
	進路指導委員会	· · · · ·	P.	16
	健康・体力の保持増進			
	保健体育科	· · · · ·	P.	17
	体育行事委員会	· · · · ·	P.	18
	健康教育部	· · · · ·	P.	19
	1年	· · · · ·	P.	20
	2年	· · · · ·	P.	21
	3年	· · · · ·	P.	22

### 評価基準

- A : 目標を上回って達成した
- B : 目標どおりに達成した
- C : 取り組んだが目標を達成できなかつた
- D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかつた

# 平成26年度 大阪市立横堤中学校 学校教育目標



## ＜学校教育目標＞

- I 自ら考え、自ら学ぶ、知性豊かな生徒を育成する。
- II 自然や人間を愛する、情操豊かな生徒を育成する。
- III たくましい体力と充実した気力ある生徒を育成する。
- IV 基本的生活習慣を実践する生徒を育成する。

## ＜総合目標＞

人間尊重の教育を基盤に、基礎的・基本的な学力の確実な定着を図るとともに、生徒一人ひとりのよさや可能性を伸ばすことにより、知・徳・体の調和のとれた「生きる力」をはぐくむ。

## ＜具体的目標＞

- 1 互いに違いを認め合い、思いやりを持って協力し合う、いじめを許さない集団づくりを行う。
- 2 確かな学力の定着を図るとともに、一人ひとりの個性や創造性を伸ばし、自ら学び、自ら考え、問題解決できる力を育てる。
- 3 生涯にわたり運動やスポーツに親しみ、心身ともに健康で活力のある生活が送られるよう、自ら運動に取り組む習慣や能力を育てる。
- 4 教育相談活動を充実させるとともに、家庭との連携をより密にして、自ら規律ある生活習慣が実践できる力を育てる。
- 5 小学校との連携を密にして、一貫性のある効果的な指導に努める。

## 1 学校運営の中期目標

### 現状と課題

- 定期テスト、実力テストにおける平均正答率 3 割以下の生徒は、3 年生において減少傾向にあるものの、1・2 年生では十分に成果をあげることはできなかった。個々の生徒の課題やつまずきを把握し、学習内容や教材、授業形態を工夫することにより、徐々に成果は見られてきているが、今後、生徒に考えさせる場面、発表する場面を多く取り入れた授業展開をさらに工夫し、単に計算力や記憶力を問うだけではない「なぜ」や「プロセス」を大切にする授業への改善を図る必要がある。
- 昨年度より「横堤中学校生徒 10 カ条」を掲げて取り組み、基本的生活習慣の改善や夢や目標を持って学習できる生徒が増加してきている。しかし、学年が下がるほど、達成状況が低く、すべての学年において、基本的生活習慣の定着や規範意識、道徳心を高められるよう取組を進める。
- 全国体力・運動能力、運動習慣調査の結果において、「立ち幅跳び」「ボール投げ」が全国・大阪市平均を下回っていることから、基礎的な体力づくりとともに、個々の生徒が自分の体を効率的に動かせるよう技術指導の改善に取り組むひつようがある。また、朝食を毎日食べている生徒が、全国・大阪市平均より低く、「早寝・早起き・朝ごはん」を毎日の生活の中で意識させる必要がある。

### 中期目標

#### 【視点 学力の向上】

- ① 平成 28 年度全国学力・学習状況調査における平均正答率を、知識・活用とも全国平均より 3 ポイント向上させる。 (カリキュラム改革関連)
- ② 平成 28 年度末の生徒アンケートにおける「授業はわかりやすい」の項目について「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答える生徒の割合を 75% 以上にする。 (カリキュラム改革関連)

#### 【視点 道徳心・社会性の向上】

- ① 平成 28 年度末の生徒アンケートにおける「将来の夢や目標を持ってていますか」の項目について「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答える生徒の割合を 80% 以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- ② 平成 28 年度末の保護者アンケートにおける「学校は、基本的生活習慣が身につくよう指導している」の項目について「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答える保護者の割合を 85% にする。 (マネジメント改革関連)

#### 【視点 健康・体力の保持増進】

- ① 平成 28 年度全国体力・運動能力、運動習慣調査における全種目の平均の記録を全国平均以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- ② 平成 28 年度末の生徒アンケートにおける「運動やスポーツ、体育的行事に積極的に活動している」の項目について「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答える生徒の割合を 80% にする。 (カリキュラム改革関連)
- ③ 平成 28 年度末の生徒アンケートにおける「朝食を毎日食べていますか」の項目について「できた」と答える生徒の割合を、平成 28 年度全国学力・学習状況調査における全国平均を上回る。 (カリキュラム改革関連)

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【視点 学力の向上】

- ① 定期テスト、実力テストにおける平均正答率3割以下の生徒を、いずれの学年も平成25年度より減少する。 (カリキュラム改革関連)
- ② 生徒アンケートにおける「授業がわかりやすい」の項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と答える生徒の割合を平成25年度より向上させる。 (カリキュラム改革関連)

### 【視点 道徳心・社会性の向上】

- ① 生徒アンケートにおける「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答える生徒の割合を平成25年度より向上させる。 (カリキュラム改革関連)
- ② 横堤中学校生徒10カ条の振り返りアンケートにおけるすべての項目について、「できた」「どちらかといえばできた」と答える生徒の割合を80%以上にする。 (カリキュラム改革関連)

### 【視点 健康・体力の保持増進】

- ① 平成25年度の全国体力・運動能力調査において全国平均を下回った種目の平均値を平成25年度より向上させる。 (カリキュラム改革関連)
- ② 生徒アンケートにおける「運動やスポーツ、体育的行事に積極的に活動している」の項目について「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答える生徒の割合を75%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- ③ 生徒アンケートにおける「朝食を毎日食べていますか」の項目について「できた」と答える生徒の割合を80%以上にする。 (カリキュラム改革関連)

## 3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立横堤中学校 平成 26 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 学力の向上】</p> <p>① 定期テスト、実力テストにおける平均正答率 3 割以下の生徒を、いずれの学年も平成 25 年度より減少する。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>② 生徒アンケートにおける「授業がわかりやすい」の項目について「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答える生徒の割合を平成 25 年度より向上させる。 (カリキュラム改革関連)</p>	

< 教務部 >

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【区分 基礎学力の向上】</p> <p>習熟度別少人数授業等の指導方法の改善を行うことで、基礎・基本的な学習内容の確実な定着を図る。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期テスト・実力テストにおける平均正答率 3 割以下の生徒を、いずれの学年も平成 25 年度より減少させる。</li> </ul>	
<p>取組内容②【区分 授業内容の改善】</p> <p>I C T 機器の活用、学習内容を身近な問題と関連させるなど、生徒が興味関心を持つ教材を作成することにより授業内容の改善を図る。</p>	
<p>指標</p> <p>生徒アンケートにおける「授業がわかりやすい」の項目について「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答える生徒の割合を 7 2 % 以上にする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【区分 習熟度別少人数授業の充実】 文法や作文などの授業を習熟度別少人数授業で行い、基礎・基本の定着を図る。さらに、応用問題にも対応できるよう、きめ細かい指導の充実を図る。 (カリキュラム改革関連)		
指標 ・定期テスト・実力テストにおける平均正答率3割以下の生徒を、いずれの学年も平成25年度より減少させる。		
取組内容②【区分 国語教育の充実】 授業方法の改善を行うことで、基礎・基本の定着を図る。 (カリキュラム改革関連)		
指標 ・定期的に小テストを行い、正答率3割以下の生徒を10%以下にする。 ・授業内での文法の復習を繰り返し行い、定期テスト・実力テストの文法分野における正答率3割以下の生徒を15%以下にする。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【区分 基礎学力の定着】 社会科の基本的な学習事項を定着させるために、自主学習教材を活用し、生徒の学習意欲を高める。		
指標 ・単元ごとに小テストや確認テストを実施し、正答率3割以下の生徒を10%以下にする。 ・自主学習のために単元ごとの復習プリントやワークを活用する。 ・復習プリント、ワークや繰り返しノートなどを利用し、繰り返し演習させる。		
取組内容②【区分 授業内容の改善】 単元ごとに評価資料の収集に努め、「目標に準拠した評価」を効果的に行える授業づくりに取り組む。 ＩＣＴ機器を活用し、社会科への興味関心を持たせる。		
指標 ・小テストや確認テストだけでなく、授業プリントやワークシート、新聞等を評価資料として用い、「目標に準拠した評価」方法の定着を図ることにより、生徒アンケートにおける「授業がわかりやすい」の項目について「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答える生徒の割合を平成25年度より向上させる。 ・授業の発問を工夫し、基本語句を繰り返し提示することにより基本的な語彙を定着させ、平均正答率3割以下の生徒を平成25年度より減少させる。 ・ＩＣＴ機器等で資料や地図、写真、映像を提示し、生徒に学習内容を視覚的に印象づけるように工夫することにより、生徒アンケートにおける「授業がわかりやすい」の項目について「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答える生徒の割合を平成25年度より向上させる。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		

< 数 学 科 >

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【区分 基礎学力の定着】 個々の理解度に応じた学習支援を行い、基礎基本の定着を図る。 (カリキュラム改革関連)		
<b>指標</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元ごとの復習に、問題集や自作のプリントを用い、基礎的な内容の反復練習を行うことにより、正答率3割以下の生徒を10%以下にする。</li> <li>・定期テストにおける、平均正答率30%以下の生徒の割合を、平成25年度より減少させる。</li> <li>・家庭学習用の教材を週に1回以上作成することにより家庭学習の定着を図り、生徒アンケートにおける「家庭での学習が定着している」の項目について「そう思う」「どちらかといえればそう思う」と答える生徒の割合を平成25年度より向上させる。</li> <li>・定期テスト前に放課後の学習会を複数回行う。</li> </ul>		
取組内容②【区分 授業内容の改善】 教材やテストを工夫することにより、数学への興味・関心を高める。 (カリキュラム改革関連)		
<b>指標</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟度別分割授業を定期的に実施することで、基礎基本の定着を図ると同時に、段階に応じた発展的な内容にも取り組む。</li> <li>・観点別評価をふまえた定期テストや小テスト、ワークシートを作成する。</li> <li>・数学への興味関心を高める身近な題材を教材にする。</li> <li>・上記の取組により、生徒アンケートにおける「授業がわかりやすい」の項目について「そう思う」「どちらかといえればそう思う」と答える生徒の割合を平成25年度より向上させる。</li> </ul>		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【区分 学力の向上】 身の回りの事象を、科学的に理解するため、基礎学力の向上を図る。		(カリキュラム改革関連)
<b>指標</b> ・定期テスト、実力テストにおける平均正答率 3割以下の生徒を、いずれの学年も平成 25 年度より減少する。		
取組内容②【区分 学力の向上】 視聴覚教材を積極的に活用する。		(カリキュラム改革関連)
<b>指標</b> ・視聴覚教材を積極的に取り入れ、よりわかりやすい授業を展開し、生徒アンケートにおける「授業がわかりやすい」の項目について「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答える生徒の割合を平成 25 年度より向上させる。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【区分 学力の定着】 繰り返し練習や授業方法の改善を行うことで、基礎・基本の定着を図る。 (カリキュラム改革関連)		
<b>指標</b> ・ 単元ごとの単語や文法事項の小テストや繰り返し練習を行い、正答率3割以下の生徒を20%以下にする。 ・ 習熟度別少人数授業を効果的に行い、個に応じた学習支援を行い、生徒アンケートにおける「英語の授業はわかりやすい」の項目について「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答える生徒の割合を平成25年度より向上させる。		
取組内容②【区分 授業内容の改善】 C-NETやICT機器を活用することで、英語への興味・関心を持たせる。 (カリキュラム改革関連) 「目標に準拠した評価」を効果的に行える授業方法の改善を図る。 (カリキュラム改革関連)		
<b>指標</b> ・ C-NETを活用し、「聞く力」「話す力」の向上を図ることにより、英語能力判定テストの「リスニング」における平均正答率を平成25年度より向上させる。 ・ ICT機器を活用し、英語学習への興味・関心を高め、生徒アンケートで「英語のは好き」「英語の授業は楽しい」と答える生徒の割合を平成25年度より向上させる。 ・ 「目標に準拠した評価」方法の定着を図ることで、英語能力判定テストの4分野における平均正答率を平成25年度より向上させる。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【区分 基礎学力の定着】 プリントや、授業内容を工夫することにより、わかりやすい授業づくりに努める。 (カリキュラム改革関連)		
<b>指標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリントなどを使用して学習内容の要点を明確にし、復習を促す。</li> <li>観点別評価を行うための教材を開発し、それに応じたプリントを作成する。</li> <li>音楽知識と実技を関連付け、実技を行う中で効果的に解説を加える。</li> <li>上記の取組により、生徒アンケートにおける「授業がわかりやすい」の項目について「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答える生徒の割合を平成25年度より向上させる。</li> </ul>	
取組内容②【区分 授業内容の改善】 教材を工夫することにより、音楽への興味関心を高める。(カリキュラム改革関連)		
<b>指標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年2回以上研修等に参加し、生徒が興味・関心を持ちやすい教材を開発する。</li> <li>授業の導入部では教材の提示方法を工夫する。</li> <li>教材ごとに目標を明確にし、生徒が学習内容を正しく把握できるようにする。</li> <li>上記の取組により、生徒アンケートにおける「音楽の授業に興味や関心や意欲を持つようになった」と答える生徒の割合を平成25年度より向上させる。</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【区分 基礎学力の定着】 自主学習や振り返り学習ができるようなプリントを活用し、基礎学力の定着を図る。 (カリキュラム改革関連)		
指標 • 下書きや授業のまとめを理解できるようなプリントを活用する。 • 授業の中で振り返りや学習確認をしながら繰り返し学習できる工夫をする。 • 上記の取組により、生徒アンケートにおける「授業がわかりやすい」の項目について「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答える生徒の割合を平成25年度より向上させる。		
取組内容②【区分 授業内容の改善】 発問や板書、視覚的な資料を工夫して、興味関心を持たせる。 (カリキュラム改革関連)		
指標 • 教科書資料や写真など、視覚的に印象付けるように工夫する。 • 創作活動の注意点やポイントを理解させるプリントを作成する。 • 授業ごとの点検票を作成し、各自で自己評価・まとめをさせる。 • 上記の取組により、生徒アンケートにおける「美術の授業に興味や関心や意欲を持つようになった」と答える生徒の割合を平成25年度より向上させる。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【区分 基礎知識の定着】 単元ごとに小テストを実施し生徒の理解状況を把握するとともに、到達度の低い項目については、繰り返し取り組むことにより、基礎的知識の習得を図る。 (カリキュラム改革関連)		
指標 ・定期テストにおける平均正答率3割以下の生徒を、いずれの学年も平成25年度より減少させる。		
取組内容②【区分 授業内容の改善】 副教材やワークシート、視覚教材を積極的に利用して、よりわかりやすい授業を開する。 (カリキュラム改革関連)		
指標 ・生徒アンケートにおける「授業がわかりやすい」の項目について「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答える生徒の割合を平成25年度より向上させる。	年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点		

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【区分 基礎学力の向上】 プリント学習により基礎知識の習得を図る。	(カリキュラム改革関連)	
指標 ・プリント作成において、いずれの学年もC評価の割合を平成25年度より減少させる。 ・定期テストの基礎問題において、いずれの学年も平均正答率を平成25年度より上げる。		
取組内容②【区分 技術の向上】 実習により基礎技術の定着を図る。	(カリキュラム改革関連)	
指標 ・作品制作において、未完成の割合を平成25年度より減少させる。 ・作品制作において、いずれの学年もC評価の割合を平成25年度より減少させる。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		

大阪市立横堤中学校 平成 26 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 道徳心・社会性の向上】</p> <p>① 生徒アンケートにおける「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を平成 25 年度より向上させる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>② 横堤中学校生徒 10 カ条の振り返りアンケートにおけるすべての項目について、「できた」「どちらかといえばできた」と答える生徒の割合を 80% 以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p>	

< 人権・特別支援教育委員会 >

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【区分 人権を尊重する教育の推進】</p> <p>道徳心社会性の向上を図り、系統的な道徳の授業に取り組む。 (カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横堤中学校生徒 10 カ条の振り返りアンケートにおけるすべての項目について、「できた」「どちらかといえばできた」と答える生徒の割合を 80% 以上にする。</li> <li>・道徳の取組などをまとめた通信を発行する。</li> </ul>	
<p>取組内容②【区分 道徳教育の推進】</p> <p>豊かな体験活動の推進により、生徒一人ひとりの感性や情操を育む。 (カリキュラム改革関連) (マネジメント改革関連)</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロの芸術家やトップアスリート、企業、大学や地域・関係諸機関と連携した出前授業や講演会等の体験活動を実施することにより、生徒アンケートにおける「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答える生徒の割合を平成 25 年度より向上させる。</li> </ul>	
<p>取組内容③【区分 特別支援教育の充実】</p> <p>集団生活をする中で個々に合った能力を伸ばし、社会性や自立心を高める。 (カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・学年行事を活用し、他の生徒との交流の機会を多く持つ。</li> <li>・特別支援学級で社会性を身につけるための自立訓練に取り組む。</li> <li>・全教職員による特別支援学級の生徒の理解を図るための校内研修を実施する。</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

<生活指導部>

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【区分 道徳教育の推進】 横堤中学校生徒10カ条を基に、基本的生活習慣と道徳心の育成に取り組む。 (カリキュラム改革関連)		
指標 ・学期ごとに学校生活を振り返らせ、それぞれの項目について「できた」「どちらかといえればできた」と答える生徒の割合を平成25年度より向上させる。		
取組内容②【区分 道徳教育の推進】 時間を守り、余裕をもって行動する意識を高める。 (カリキュラム改革関連)		
指標 ・登校時に予鈴遅刻チェックを行い、前年度より予鈴遅刻者数を減らす。 ・チャイム着席を徹底し、学期に1回強化週間を行う。		
取組内容③【区分 道徳教育の推進】 「あいさつ」が習慣付くよう指導する。 (カリキュラム改革関連)		
指標 ・横堤中学校生徒10カ条の振り返りアンケートにおける「時間を守り、遅刻をゼロにする」の項目について、「できた」「どちらかといえればできた」と答える生徒の割合を80%以上にする。		
取組内容④【区分 問題行動への対応】 教職員間の共通理解を図り、チーム指導を推進する。		
指標 ・毎日の情報交換を密に行い、生活指導部へ情報の集約を行う。 ・生徒の実態把握、問題行動への対策・予防策の共通理解を図るため、学年・公務分掌を超えた「生活指導ミーティング」を各学期に3回実施する。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		

< 進路指導委員会 >

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【区分 キャリア教育の推進】 職場体験学習に取り組み、学校から社会への移行のために必要な基礎的資質や能力をはぐくむ。		
指標 ・生徒アンケートにおける「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答える生徒の割合を平成25年度より向上させる。		
取組内容②【区分 進路指導】 将来の夢や目標に基づいて、自分の進路について考えさせるとともに、「進路だより」を通して進路にかかわる情報を生徒・保護者に積極的に発信する。		
指標 ・保護者アンケートにおける「学校は、将来の進路や職業などについて、適切な指導を行っている」の項目について「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答える保護者の割合を平成25年度より向上させる。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		

大阪市立横堤中学校 平成 26 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【視点 健康・体力の保持増進】</b>	
① 平成 25 年度の全国体力・運動能力調査において全国平均を下回った種目の平均値を平成 25 年度より向上させる。	(カリキュラム改革関連)
② 生徒アンケートにおける「運動やスポーツ、体育的行事に積極的に活動している」の項目について「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答える生徒の割合を 75% 以上にする。	(カリキュラム改革関連)
③ 生徒アンケートにおける「朝食を毎日食べていますか」の項目について「できた」と答える生徒の割合を 80% 以上にする。	(カリキュラム改革関連)

< 保健体育科 >

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<b>取組内容①【区分 基礎体力の向上】</b> 補強運動を固定化せずに、「瞬発力」や「巧緻性」を養うようなトレーニングを工夫する。 各学期に「ハンドボール投げ」「立ち幅跳び」の測定を実施し、前回の記録と比較することで生徒の体力の向上を図る。	(カリキュラム改革関連)
<b>指標</b> ・ 平成 25 年度の全国体力・運動能力調査において全国平均を下回った種目の平均値を平成 25 年度より向上させる。	
<b>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</b>	
<b>次年度への改善点</b>	

< 体育行事委員会 >

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<b>取組内容①【区分 体育的活動の充実】</b> 生徒主体の運動会や各種スポーツ大会を実施し、体育的行事の活性化を図る。 (カリキュラム改革関連)	
<b>指標</b> • 運動会等の振り返りアンケートにおいて、「積極的に参加できた」「楽しかった」などの項目について「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答える生徒の割合を80%以上にする。	
<b>取組内容②【区分 体力向上の支援】</b> トップアスリートや専門的な技術指導者、大学教授による実技講習会を実施し、子どもの運動に対する関心・意欲を高めることにより、体力の向上を図る。 (カリキュラム改革関連)	
<b>指標</b> • 講習会の振り返りアンケートにおいて、「楽しかった」「興味がわいた」などと答える生徒の割合を80%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【区分 健康な生活習慣の確立】 早寝・早起き・朝ごはんを軸に、規則正しい生活習慣を確立させる。 (カリキュラム改革関連)		
指標 ・「早寝・早起き・朝ごはん」を生活の中で意識できるよう、「ほけんだより」や「食育通信」を毎月発行する ・学期ごとの学校生活振り返りアンケートにおいて、生活習慣にかかる 3 項目について、「できた」「どちらかといえばできた」と答える生徒の割合を平成 25 年度より向上させる。		
取組内容②【区分 食育】 朝ごはんを食べることの重要性を生徒に啓発し、朝ごはんを食べようとする意識を身につけさせる。 (カリキュラム改革関連)		
指標 ・保健委員会で朝ごはんについて啓発する活動に取り組む。 ・生徒アンケートにおける「朝食を毎日食べていますか」の項目について「できた」と答える生徒の割合を 80% 以上にする。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		

大阪市立横堤中学校 平成 26 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

< 1 年 >

年度目標	達成状況
<p>【視点 道徳心・社会性の向上】</p> <p>① 生徒アンケートにおける「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を平成 25 年度より向上させる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>② 横堤中学校生徒 10 カ条の振り返りアンケートにおけるすべての項目について、「できた」「どちらかといえばできた」と答える生徒の割合を 80% 以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【区分 特別活動】</p> <p>仲間を知り、大切にするための学級・班活動を推進する。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全ての学級で班活動に取り組む。（清掃活動・学校給食の円滑な実施。）</li> <li>生徒アンケートで、「仲間と気持ちよく生活できている」の項目において、「できている」「どちらかといえばできている」と回答する生徒の割合を 70 % 以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容②【区分 基本的生活習慣の育成】</p> <p>横堤中学校 10 ケ条を意識できるように指導し、時間やきまりを守らせる指導を根気よく続ける。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒アンケートで、「きまりを守っている」の項目に対する回答において、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答する生徒の割合を 8 割以上にする。</li> <li>朝の遅刻を通年で 1 パーセント以下にする。</li> </ul>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

大阪市立横堤中学校 平成 26 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

< 2 年 >

年度目標	達成状況
<p>【視点 道徳心・社会性の向上】</p> <p>① 生徒アンケートにおける「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答える生徒の割合を平成 25 年度より向上させる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>② 横堤中学校生徒 10 カ条の振り返りアンケートにおけるすべての項目について、「できた」「どちらかといえばできた」と答える生徒の割合を 80% 以上にする。 (カリキュラム改革関連)。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【区分 キャリア教育の推進】</p> <p>職場体験学習に取り組み、学校から社会への移行のために必要な基礎的資質や能力をはぐくむ。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒アンケートの「将来の夢や目標を持っている」の項目において、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答える生徒の割合を、平成 25 年度より向上させる。</li> </ul>	
<p>取組内容②【区分 学校・家庭・地域の連携の推進】</p> <p>学校から積極的に情報を発信するとともに、生徒の良さや課題を伝え、共通理解を図る。 (カリキュラム改革関連) (マネジメント改革関連)</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学年通信を月 1 回発行する。</li> <li>保護者アンケートの「教育活動の様子を学校だよりやホームページ等で積極的に発信している。」の項目において、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答える保護者の割合を、平成 25 年度より向上させる。</li> </ul>	
<p>取組内容③【区分 いじめへの対応】</p> <p>違いを認め合い、思いやりを持って協力し合う、いじめを許さない集団づくりを行う。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学年全体で班活動に取り組み、生徒アンケートの「仲間とともに喜び感動し、共感できる」「いじめを許さない」の項目において、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答える生徒の割合を、平成 25 年度より向上させる。</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立横堤中学校 平成 26 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

< 3 年 >

年度目標	達成状況
【視点 道徳心・社会性の向上】 ① 生徒アンケートにおける「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答える生徒の割合を平成 25 年度より向上させる。 (カリキュラム改革関連)	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 取組内容①【区分 進路指導】 進路についての取組等の学習を通じて、将来の夢や目標について考えさせる。 (カリキュラム改革関連)	進捗状況
指標 ・生徒アンケートにおける「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答える生徒の割合を 75 %以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	